

薬物乱用防止教室

今年度は、『埼玉県警非行防止班あおぞら』の指導員 2 名が講師として来校し、高等部と中学部の一部生徒を対象に、薬物乱用防止教室を行いました。わかりやすい言葉で、丁寧に説明をしていただきました。



- ・未成年の危険な薬物の入り口となりやすいお酒とたばこは、成長途中の身体に悪影響があるので、ルールを守って 20 歳になってから
- ・違法薬物は食べ物のような別名や親しみやすいキャラクターの形である場合がある
- ・違法薬物によって、幻覚や幻聴により犯罪を起こしてしまうことがある



ということを、講師によるお話しや DVD 視聴、実際の薬物の写真などを見て学びました。

ロールプレイング ～先輩（役の警察の方）からの怪しい薬物への誘いを断る練習～

代表者が行い、みんなで見学しました。実際に断る言葉を伝えることは難しいことです。逃げることも手段のひとつというお話しや、実際に体験したり見たりすることで、良い経験になりました。



このほかに、SNS の書き込みについて、文字での伝わり方に勘違いが生まれやすいことや、仲間はずれやいじめにつながること、また、振り込め詐欺の受け子、出し子、見張りなどに、中高生が『簡単に稼げるアルバイト』とだまされて使われてしまうことなどのお話を聞きました。1 時間があっという間でした。これからも毎年学ぶ機会を持つ予定です。